

認知度向上へ積極活動 九州ウォータージェット工業会



業員の命を守るとともに、特に飛散防止に優れていると自負している。アスベストに関して法改正による規制の強化で、安全かつ確実な処理が強く求められている。行政や元請け、解体業者への認知度向上に向けた活動を積極的に展開し、さらなる普及を図ってきたい」と述べた。

アスベスト除去工事における高圧ウォータージェットの活用促進を図る、(一社)九州ウォータージェット工業会(尾関正敏会長)は16日、令和4年度の定時総会Ⅱ写真Ⅱを福岡市博多区の八仙閣で開催し、自治体や設計事務所などへの認知度向上に取り組む今年度の事業計画を決めた。

同工業会は、確実なアスベスト除去を可能とする高圧ウォータージェッ

トを用いた工法の活用促進を図るため、昨年7月に発足。会員は、(株)ハツトリ工業、(株)キューボウ、(株)トーヨー商会、九州防水(株)、(株)シンエイ、(株)南防、(株)NEXT INNNOVATION、小島建興(株)の8社でスタートし、今期は新たにダンバック工業(株)の1社が加わった。

開会に当たり、尾関会長は「この工法はアスベスト除去作業において作

総会では3年度の事業報告および決算報告、4年度の事業計画案および収支予算案を審議し、全ての議案を原案通り承認。今年度の重点事業としては、▽自治体や設計事務所に対する同工法の啓蒙活動の実施▽会員相互の情報共有▽共同購買事業の推進▽工法のグレードアップのための勉強会の開催▽技術者育成のための技能検定および施工管理者講習の実施などを展開する。